

守ろう 地球のたからもの

絶滅危惧植物展 2012



野生絶滅種コシガヤホシクサの花
小さな星型の花を咲かせます[星型の花は1mm]

筑波実験植物園絶滅危惧植物コレクション公開

多くの植物が
きえそうなことを知った

なぜ？
どうして？
なにができる？

いっしょにまなび
考える
企画展です



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden



2012 6.2 土 - 6.10 日

毎日開園します

国立科学博物館 筑波実験植物園

[入園料] 一般 300 円 団体(20名以上) 200 円 高校生以下・65歳以上 無料 [開園時間] 午前 9 時 ~ 午後 5 時(入園は30分前まで)
[ホームページ] <http://www.tbh.kahaku.go.jp/> [お問合せ] ☎305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998
[主催] 国立科学博物館 筑波実験植物園 [協力] ミュージアムパーク茨城県自然博物館



知る、守る、伝える わたしたちのたからもの



消えゆく植物の1つ「アマミワゴケ」の妖精アマミナが企画展をナビゲートします



古来、日本人は植物を愛し、植物からいろいろな自然の恵みを受けて生きてきました。しかし、今日、その日本の自生植物約7,000種類のうち、1,700種類(約24%)、つまり、4種類に1種類が消えようとしています。企画展では見ごろの絶滅危惧植物およそ70点の特別展示、生物多様性のパネル解説などを行います。一緒に絶滅危惧植物について考えましょう。知ることが守ることの第一歩です。

筑波実験植物園では、絶滅の恐れがある植物を調査・研究し、コレクションとして系統を維持・保全しています。園内で保有する絶滅危惧種は約500種、そのうち約170種が園内で観察できます。

植物保全の現場も公開中



植物培養室



絶滅危惧植物温室

展示案内 研究員による企画展解説ツアーを開催 [集合] 研修展示館前 [講師] 國府方吾郎(筑波実験植物園)

みどころダイジェスト30分コース

6.2(土)/6.3(日)/6.9(土) 午後1時30分～午後2時 予約不要

園案内付き・じっくりまなぶ2時間コース

6.10(日) 午前10時～午後12時 要電話予約・先着30名 ※6/10は、茨城県自然博物館企画展「植物たちのSOS」の関連イベントと同時開催いたします。



星の花★コシガヤホシクサのこと

コシガヤホシクサ(ホシクサ科)は、世界中でこれまでに2カ所でしか記録されていない稀少な水生植物です。しかし2カ所の自生地からはすでに絶滅し、栽培保存された個体が生き残るのみの野生絶滅種です。地球上から完全に失われる危険から守るために、筑波実験植物園は環境省、NPOや地元の関係者と共同で、コシガヤホシクサの野生復帰を目指した保全研究を行っています。2011年9月には野生復帰地での約1万個体の開花に成功し、コシガヤホシクサが野生に帰る日も少しずつ近づいています。

<交通案内>

| お車 |

常磐自動車道 桜土浦 I.C. から北(筑波山方面) へ約 8km

| 電車・バス |

つくばエクスプレス「つくば駅」より関東鉄道バス

① 5 番乗り場『テクノパーク大穂行き』→「筑波実験植物園前」下車→徒歩 2 分

② 6 番乗り場『筑波大学循環左回り』→「天久保二丁目」下車→徒歩 8 分

[つくば駅バスターミナル時刻表]

①	平日	土日祝	②	平日	土日祝
9		35	9	10 30 50	0 40
10	0 55	55	10	10 30 50	20
11			11	10 30 50	0 40
12			12	10 30 50	20
13		20	13	10 30 50	0 40
14	0		14	10 30 50	20
15			15	10 30 50	0 40

植物多様性を知る・守る・伝える

筑波実験植物園

Tsukuba Botanical Garden

《予告》

夏休み植物園フェスタ 7/21(土)～8/5(日)
変化朝顔展 8/25(土)～9/9(日)

お問合せ

【住所】〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

【電話】029-851-5159 【URL】http://www.tbg.kahaku.go.jp/

